授業科目名・形態	認知症ケア論Ⅰ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野　修	実務経験の有無	有	開講期	2年前期
科目ナンバリング	W4-2036c				

【授業の主題】

認知症を取りまく状況を踏まえ，認知症の医学的・心理的側面につての基礎知識を身につけます。また，介護実践の根拠となる身体的・心理的・社会的側面からの統合的な学びもしていきます。

【到達目標】

1) 認知症のケアの歴史や理念を含む認知症を取りまく社会的環境について理解できる。
2) 認知症の人への生活支援を行うための心身の変化や心理症状を理解できる。
3) 認知症の原因と診断および治療等の医学的知識を理解できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　認知症とは，人口統計，歴史・文化からみた認知症
第 2 回　認知症と脳のしくみ
第 3 回　認知症の人の心理
第 4 回　中核症状の理解（1）
第 5 回　中核症状の理解（2）
第 6 回　生活障害の理解
第 7 回　ＢＰＳＤの理解（1）
第 8 回　ＢＰＳＤの理解（2）
第 9 回　認知症の診断，認知症の原因疾患とその症状
第 10 回　認知症の治療薬，若年性認知症
第 11 回　認知症の予防とリハビリテーション，様々なアプローチ
第 12 回　認知症ケアの最新事情，認知症の法律問題
第 13 回　認知症ケアの理念と視点，ケアの倫理
第 14 回　当事者の視点，体験への理解
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

基本は講義形式で行います。また，認知症の当事者および家族の視点を共有する目的で，デスカッションを取り入れた授業も展開していきます。

【事前・事後学習】

講義内容に応じて毎回 30 分以上の予習・復習を行ってください。

【主な関連する科目】

生活支援技術論Ⅰ・Ⅱ，医学概論，高齢者と健康

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座　認知症の理解　中央法規出版.

【参考文献】

公益社団法人日本看護協会　認知症ケアガイドブック　照林社.

【成績評価方法】

筆記試験 80%，課題レポート提出物 10%，演習への取り組み等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院や老人保健施設においての認知症看護の経験があります。その経験を生かして，医療職と連携して介護福祉士の認知症ケアにおいての専門性が発揮できるための様々な学びを一緒に行っていきたいと思います。

【学生へのメッセージ】

生活支援技術論Ⅰで学んだ人間のこころのしくみと絡めて認知症の人のこころと身体面の特徴をお話ししていきたいと思いますので，こころとからだのしくみにおいての基礎的知識につながっていく学習を目指してください。